

# ご挨拶

## 第50回胃病態機能研究会

当番会長 河合 隆

東京医科大学消化器内視鏡学分野  
主任教授



この度、第50回胃病態機能研究会を平成30年2月10日（土曜日）～11日（日曜日）の2日間、京王プラザホテル（東京都新宿区西新宿）にて開催させていただきます。このような伝統ある研究会を担当させていただくことを大変光栄に存じております。

今回の研究会は「ピロリ陰性時代を迎える酸関連疾患の将来像を考える」としました。*H. pylori* 感染率の急激な低下、除菌治療の普及により、ピロリ陰性時代にすでに突入していると思われます。一方胃酸分泌抑制剤であるH<sub>2</sub>-receptor antagonist (H<sub>2</sub>B)が1980年代に登場し、1990年代にはproton pump inhibitor (PPI)が発売され、胃酸分泌をコントロールできるようになりました。2013年3月からさらに強力なPotassium-Competitive Acid Blocker (P-CAB)が使用できるようになり、酸関連疾患においてムーブメントを起こしております。

昭和44年「第1回胃分泌研究会」が開催され、平成17年「胃病態機能研究会」と改名し、今年で第50回を迎えます。今回は記念講演会、Young investigator session、Meet the Expertなどの企画を考えております。

多くの演題発表と先生方のご参加をお待ちしております。よろしくお願い申し上げます。

2017年9月吉日